

3月3日 沖縄本島北西沖の地震

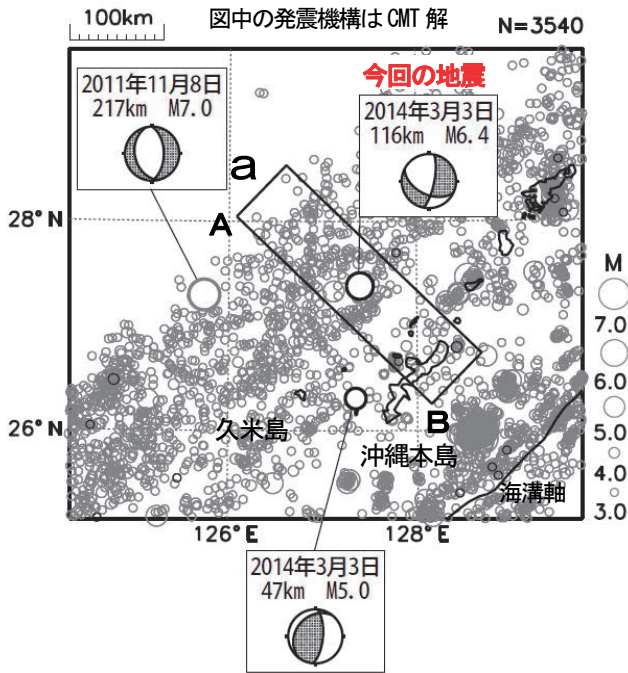
震央分布図

(2000年7月1日～2014年3月31日、
深さ 30km～250km、 $M \geq 3.0$)

2014年3月の地震を濃く表示

図中の発震機構は CMT 解

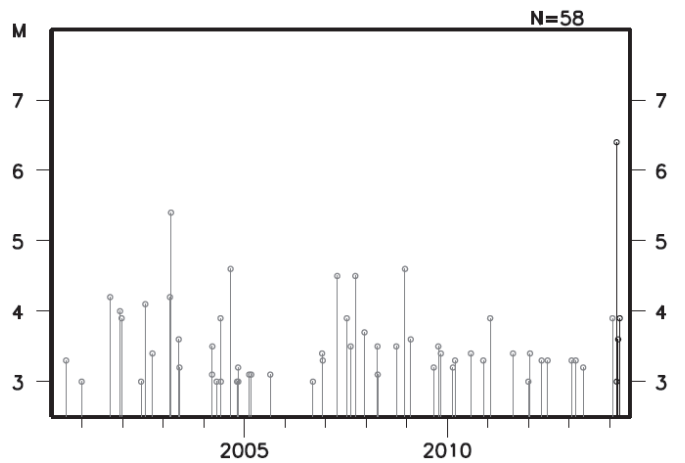
N=3540



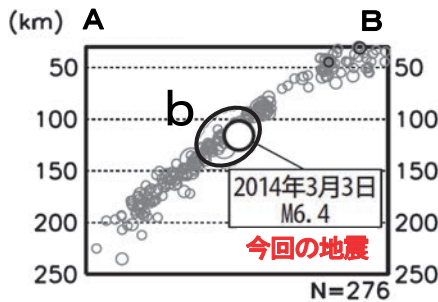
2014年3月3日05時11分に沖縄本島北西沖 (那覇の北北西約130km) の深さ116kmでM6.4の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生した。発震機構 (CMT解) はフィリピン海プレートが沈み込む方向に圧力軸を持つ型である。

2000年7月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、M4.0以上の地震が時々発生しているが、M6.0以上の地震の発生は今回が初めてである。

領域b内のM-T図



領域a内の断面図 (A-B投影)



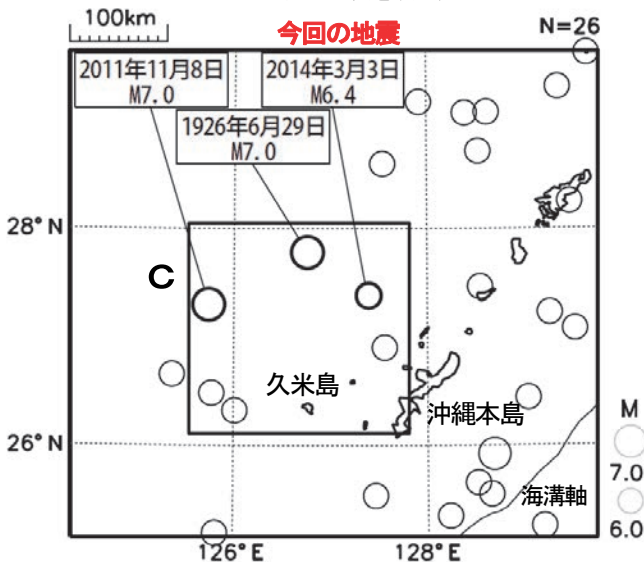
1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、1926年6月29日にM7.0の地震 (最大震度4)、2011年11月8日にM7.0の地震 (最大震度4) が発生している。

震央分布図

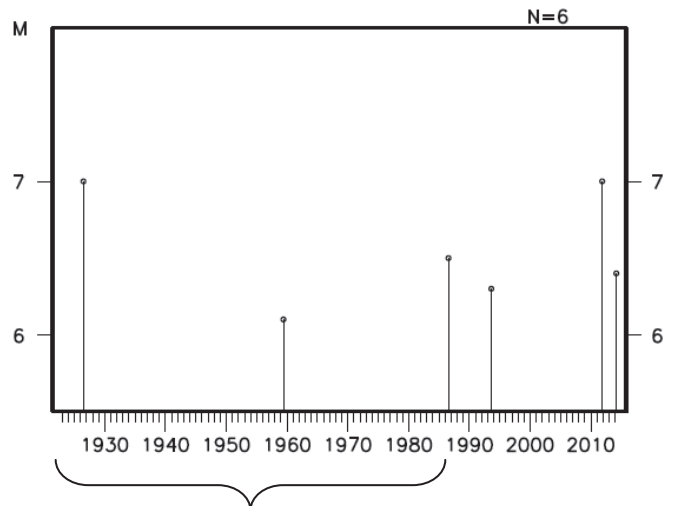
(1923年1月1日～2014年3月31日、
深さ 30km～250km、 $M \geq 6.0$)

2014年3月の地震を濃く表示

N=26



領域c内のM-T図



(この期間は検知能力が低い)